

はくぶつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM

VOL 3 NO 2 1978. 5. 1
平塚市博物館 TNO 25



5月の鳥 アオバズク

日の暖かい5月の夜、たまには外へ出て、闇の中で耳をすましてみませんか。大きな樹の繁みからホッホッと澄んだ呼び声が聞こえたら、それはアオバズク。南の国から渡ってきた坊主頭のフクロウです。木のうろで巣を作るこの鳥、市街地からは姿を消してしまった鳥の一つです。

5月の行事

○ 5月6日(土)

星を見る会

春の星雲、星団を見よう。

時間 午後6時から8時まで。

参加 自由

○ 5月26・27日(金・土)

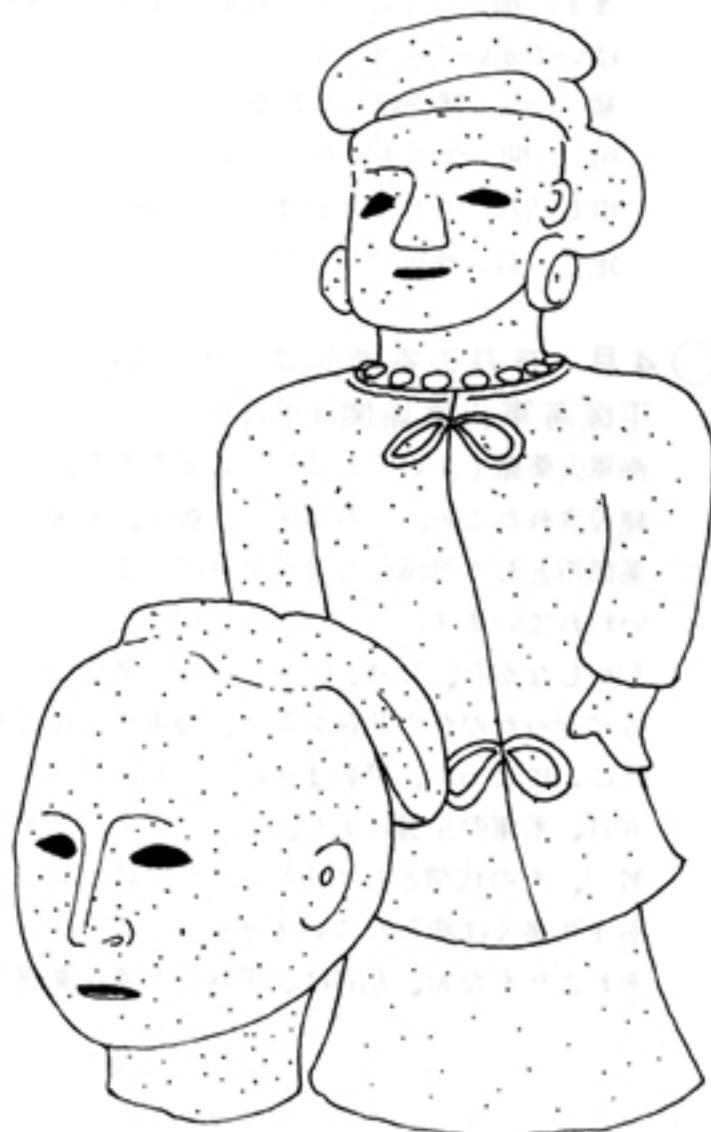
体験学習—人物埴輪を作ろう—

古墳時代に作られた埴輪には、さまざまななぞが秘められ、私達の心をひきつけ、一個の土くれの造形が不思議な魅力で語りかけてくる。あなたもいっしょに人物埴輪を作ってみませんか。

場 所 平塚市博物館科学教室

時 間 午前10時～午後4時まで

申し込み 5月20日までに往復ハガキで



6月の行事予定

○ 6月4日(日)

星を見る会
太陽黒点の観察

時 間 午前11時半より午後1時まで
申し込み 5月25日までに往復ハガキで
定 員 抽選で30名

○ 6月18日(日)

自然観察会
自然の中のいろいろな匂いや手ざわり
を体験しよう

時 間 午前9時・平塚駅集合
コ ー ス 駅⇄古沢⇄鷹取山
申し込み 6月4日までに往復ハガキで
定 員 抽選で30名

○ 6月18日(日)

体験学習 草履(ゾウリ)を作ろう

ワラでゾウリを作ってみよう。
かつて身近かなはきものであったゾウリを作ります。縄をなうことから始めて1足作りあげ、はいて歩いてみます。

場 所 博物館科学教室
時 間 午前10時～午後3時まで
申し込み 6月10日までに往復ハガキで
定 員 抽選で20名

○ 4月～5月の寄贈品コーナー展示

平塚海軍火薬廠関係資料

海軍火薬廠(かいぐんかやくしょう)が、平塚に建設されたこと。この事実が、戦後、平塚が商工業都市として飛躍的な発展を遂げる礎となったといわれています。

しかしながら、なぜ、平塚に海軍火薬廠が作られるに至ったのかの問題を含め、海軍火薬廠があったことによって、終戦まぎわの昭和20年7月16日、米軍の空襲により、市民の多くに多大の犠牲が、その代償として支払われたかについては、あまり多くは語られていません。

それよりもなお、私達は、平塚に海軍火薬廠があ

○ 寄贈品コーナー展示換えについてお知らせ

博物館の1階受付の奥に寄贈品コーナーがありますが、51・52年度の期間に通算21回の展示換えを行ってまいりました。市民の皆様から寄贈していただいた貴重な資料をご紹介するコーナーとして主に民俗資料が多かったのですが、今年度は2カ月に1回各部門ごとにおいて寄贈品をご紹介することになりました。

昭和53年

4月1日から5月30日まで
歴史：平塚海軍火薬廠関係資料。

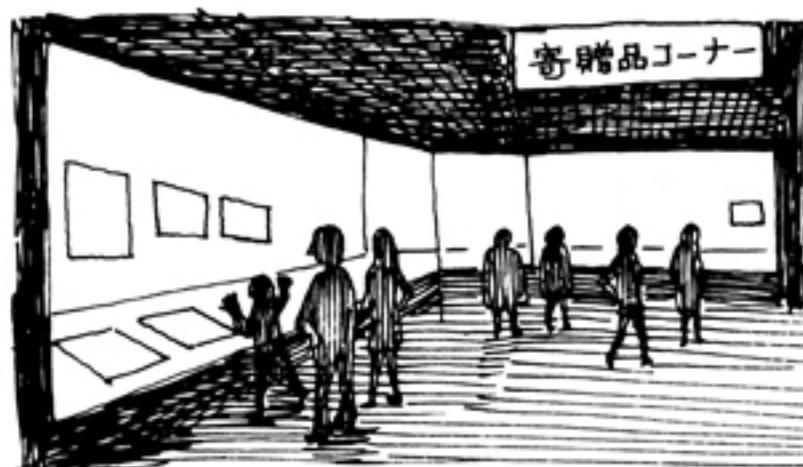
6月1日から7月30日まで
生物部門への寄贈資料。

8月1日から9月30日まで
考古部門への寄贈資料。

10月1日から11月30日まで
美術：井上三綱作洋画。

12月1日から1月30日まで
天文部門への寄贈資料。

2月1日から3月30日まで
民俗部門への寄贈資料。



ったことは事実として広く一般に知られていますが、海軍火薬廠についての具体的な事実、その組織、機構、火薬製造実績・工程、当時、海軍火薬廠に働く人々について、十分に、その情報が提供されておりません。

そこで今回は、海軍火薬廠の具体的な事実を中心として、市民の皆様よりご寄贈いただいた関係資料により、海軍火薬廠のことをあらためて考えてみたいと思います。

○ 出版物について

博物館では昨年度までの調査研究活動のまとめを博物館資料シリーズとして次のように出版してきました。

㊦1 『平塚市庶民資料集成・平塚町年貢割付I』

昭和49年8月13日発行(1974)

B5判154ページ。限定200部

㊦2 『平塚市発掘調査の回顧と展望』

昭和50年3月30日発行(1975)

B5判12ページ。限定300部

㊦3 『平塚市遺跡分布調査報告I』

昭和49年8月1日発行(1974)

B5判38ページ。限定500部

『平塚市遺跡分布調査報告II』

昭和51年5月1日発行(1976)

B5判55ページ。限定300部

㊦4 『平塚市資料所在目録—土沢地区—』

昭和51年10月30日(1976)

B5判105ページ。限定80部

㊦5 『平塚市資料所在目録—金目地区—』

昭和52年3月30日(1977)

B5判110ページ。限定150部

㊦6 『王子台遺跡調査報告書』

未発行 近日発行予定

㊦7 『作ってみよう—体験学習シリーズテキスト集』

昭和53年3月10日発行(1978)

B5判48ページ。限定1,000部

㊦8 『自然と文化 第1号』

昭和52年12月1日(1977)

B5判76ページ。限定800部

㊦9 『自然観察ガイド—平塚を歩く—』

昭和53年3月31日発行(1978)

B5判96ページ。限定2,000部

㊦10 『上ノ入A遺跡発掘調査報告』

昭和53年3月31日発行(1978)

B5判60ページ。限定800部

㊦11 『相模川の魚と漁—相模川流域漁撈習俗調査報告書』

昭和53年3月31日発行(1978)

B5判224ページ。限定700部

㊦12 『十七ノ城遺跡他詳細分布調査報告—砂丘上の遺跡確認調査—』

昭和53年3月20日(1978)

B5判80ページ。限定300部

㊦13 『平塚市発掘調査の回顧と展望II』

昭和53年3月30日発行(1978)

B5判40ページ。限定800部

㊦14 『平塚市資料所在目録—旭地区—』

未発行 近日発行予定

B5判70ページ。限定300部

㊦15 『平塚庶民資料集成—南金目文書—』

昭和53年3月25日発行(1978)

B5判180ページ。限定300部



○ 『相模川の魚と漁—相模川流域漁撈習俗調査報告書—』

平塚市博物館資料㊦11 相模川の上流部の山梨県側から河口の平塚市まで7地域をえらび、河川景観と生息魚、漁法・漁具、魚の交易や食べ方、舟と舟運、舟大工などについての調査報告書。

川漁、舟運など相模川をめぐる伝統的に営まれ続けてきた人間生活を、明治・大正・昭和にわたって記録したもので、川と人間の歴史を具体的に知るには必読の書である。

調査・編集は平塚市博物館が行なったもので、B5判224ページ、図版・写真を多数使用。販売は市内書店で、1,800円 限定700部。

- プラネタリウム案内
 話題 5月 太陽とわたしたち
 6月 金星旅行

観覧料 1人 100円

所要時間 1回 45分

観覧券の発売開始時刻と投影開始時刻

投影日		発売開始時刻	投影開始時刻
土曜日	1回目	12:00	13:40
	2回目	14:00	15:00
日曜日	1回目	9:00	10:30
	2回目	12:00	13:30
水・木	団体専用		

定員 128人

観覧券は、1人、1回、1枚しか発売しません
 のでご注意ください。

乳幼児はご遠慮ください。



行事に参加ご希望のかたは

往復ハガキで博物館へ

お申し込みください。

○ 人事異動

転出 村山 昇 福祉課へ
 新任 齊藤精次 保健衛生課より
 本荘篤美 職員課より
 笹尾正雄 公害課より

はくぶつかん VOL3 NO2

昭和53年5月1日

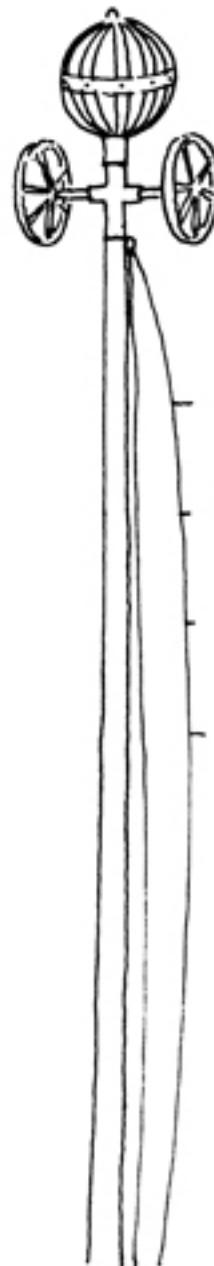
発行：平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41

TEL 0463-33-5111 通巻25

印刷：平塚市総務部行政課文書係

©1978 3,000



ハガキには

住所・氏名・年令・

。電話番号を

忘れずに記入して下さい。

